

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 東朽網 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析

運動やスポーツが好きだと回答した児童が多く、体育の授業が楽しいと回答した児童も多い。普段の運動時間については、全国や北九州市の平均とほぼ同じ結果である。また、朝食を食べている児童の割合及び睡眠時間については、全国や北九州市の平均を上回っている。全校で取り組んでいる「東朽網っ子タイム」がよい影響を与えていると考えられる。中休み後に運動場を走ったり、縄跳びをしたりすることが運動習慣形成の基盤になっている。しかし、体育の授業を通して、「できたり、わかったり」することについては、肯定的な回答の割合が低く、今後の課題となっている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

児童にとって「できたり、わかったり」する体育科学習にするために、ICTの積極的な活用を推進する。児童が自分の動きをすぐに確認したり、動きの変化を見たりすることを通して、課題等を客観的に明確に捉えることができるようにする。また、学習カードを活用し、運動のポイントを確かめたり、自分の目標を設定したりすることを通して、深い学びを実現していく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

「東朽網っ子タイム」を実施している。中休み後の5分間、低中高学年に分かれて走ったり、縄跳びをしたりすることを通して、体力向上と運動習慣の定着を図っている。学校通信や学級通信、新1年生入学説明会等を通して、保護者へ取組の目的等を発信している。